

事務局 2020 - 193
2021 年 1 月 27 日

関係者 各位

(一社) 全日本テコンドー協会
会長 木村 興治

第 13 回全日本学生テコンドー選手権大会

第 4 回全日本社会人選手権大会兼第 2 回全日本マスターズ選手権大会

中止のお知らせ

当協会は、2021 年 1 月 26 日夜に臨時理事会を開催し
「第 13 回全日本学生テコンドー選手権大会」
「第 4 回全日本社会人選手権大会兼第 2 回全日本マスターズ選手権大会」
の中止を決定いたしました。

本年度初のキョルギの競技会となる本大会を心待ちにし、鍛錬に勤しんでいた競技者及び関係者の皆様には、残念なお知らせとなり誠に心苦しく思っておりますが、中止という苦渋の決断をした事情は以下のとおりであり、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

当協会としては、参加者やその関係者、さらに協力いただける審判やスタッフの皆様のご健康と安全を第一に考えつつ、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け「スポーツを止めない」という思い、さらにテコンドー競技者、愛好者の皆様の「競技をしたい」という気持ちに伝えるため、安全を確保しながら可能な限り大会を開催することを考えておりました。

この方針に、引き続き変更はありません。

しかしながら、再度の一都三県の緊急事態宣言後、兵庫県も緊急事態宣言の対象となり、客観的状況として、開場となる姫路市においては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が過去最大となり医療現場も逼迫していること、ほとんどのイベントが中止とされていることが確認されました。

一方で、他競技やプロスポーツの試合など継続されているものもあり、当協会でも、なんとか同様に開催できないかを検討しました。しかし、当協会が他競技と同様の万全な感染防止対策下で大会を実施するためには、当日、数十名のスタッフが必要となるところ、現状では、兵庫県協会だけでこのスタッフ確保は困難で、近隣

府県に対し、この状況下でスタッフ派遣（移動）をお願いすることもできないと判断いたしました。

その他様々な事情を考慮し、参加者やその関係者、さらに協力いただける審判やスタッフの皆様の健康と安全を第一に考えたとき、万全な感染症対策下での大会実施は、当協会においては困難と考えました。

そして、この状況は、2月1日まで変わることはないと考え、公表を予定していた2月1日に先立ち、昨晚、中止を決断した次第です。

なお、この間、実施に向けて検討を重ねた競技委員会には謝意を表します。

大会にエントリーされた選手の皆様への参加費の返還につきましては、その方法等が決まり次第、改めてお知らせいたします。

3月7日に予定されている全日本選手権に関しましては、なんとか実施したいと考え、PCR検査導入の可能性も含め、参加者やスタッフの安全確保に向けた検討を続けております（PCR検査については、まだ可能性を検討している段階で、導入できるかどうか未定ですのでご了承ください）。

さらに、学生選手権大会の中止に伴い、今年度学生として大会出場の機会が失われた選手に対する何らかのフォローができないか、その可能性も検討中です（これも可能性を検討している段階ですのでご了承下さい）。

以上のとおり、当協会としては、今後予定されている大会につきましては、参加者やその関係者、審判や大会スタッフの皆様の安心や安全を第一に考えながら、可能な限り大会を開催したいと考えておりますので、皆様には、今回の中止決定にご理解を賜り、引き続き当協会の活動にご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上